

## 石巻圏域の施策の方向性と取組（県の主な取組）

施策の方向性と取組	No.	事業名	事業概要	実施状況	実施期間			該当する戦略						
					R4	R5	R6	回復戦略	戦略1	戦略2	戦略3	戦略4		
1. ポストコロナ時代の観光地づくり	1	伊達なバス旅事業	・地域観光の二次交通として、宮城県内を巡る全50コースの日帰りバスツアー、伊達なバス旅の運行を実施するもの。	【R4】 圏域内2事業者 石巻市内の歴史・伝説を巡るコース、石巻市内・南三陸町内のパワースポットを巡るコース 【R5】 圏域内1事業者 石巻市内の金華山を巡るコース 【R6】 圏域内1事業者 県内の国宝・重要文化財を巡るコース	○	○	○		○					
	2	選ぶ！選ばれる!!みやぎ飲食店コロナ対策認証制度の周知	・令和3年5月21日から令和5年5月7日まで、食と暮らしの安全推進課が実施していた制度。新型コロナウイルス感染症対策を行い、認証基準を満たして登録を行った飲食店を「認証店」として取り扱い、認証ステッカーを配布し、特設サイトに掲載していたもの。	東部地方振興事務所は、市町・関係団体とともに事業説明やポスターの配布などの事業PRを行った。	○	○		○						
	3	観光と食の魅力発信支援事業（いいねっしのまきによる情報発信）	・当所公式SNS「いいねっしのまき」を活用し、地域の観光情報・イベント情報の発信を行うもの。	地域のイベントの開催日時や概要の投稿や、地域の飲食店の紹介などを行っている。そのほかにも、水産の日販売会やふれあいコンサートなど、県の取組についても情報発信を行っている。 ・フォロワー数 【R4末】約4,500人 【R5末】約5,300人 【R6現在】約5,500人	○	○	○						○	
	4	石巻圏域の情報発信（圏域PR動画の活用）	・石巻圏域の魅力を発信するために、各地域の観光地や特産品の魅力を収めた観光PR動画を作成し、（各市町の動画15秒×3本、圏域の動画1分×1本）その動画を活用して観光PRを行うもの。	令和3年度にDMOに委託し、動画を作成した。動画はYouTubeに公開しているほか、後述の楽天パークでの放映や、旅行会社の無料広告など広く公開している。 ・YouTubeでの観光PR動画再生回数 ・圏域版（60秒） 440回 ・石巻市版（15秒） 531回 ・東松島市版（15秒） 147回 ・女川町版（15秒） 226回	○	○	○						○	
	5	みやぎ三陸エリアドライブマップ作成（仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会三陸地域部会）	・三陸地域の周遊を促進するために、三陸エリアの道路アクセスや観光地などを紹介する「みやぎ三陸エリアドライブマップ」を作成・配布するもの。	各関係事務所に配架のほか、空港や駅、レンタカー会社などにも配架している。また観光PRイベントの際にも配布するなどしている。三陸エリアの情報が網羅的に記載されているため、旅行者からの需要は高い状況。 ・ドライブマップ発行部数 【R4】3万部 【R5】3万部	○	○	○							○
	6	インバウンド受入態勢強化推進事業（公式Facebook「英語・中国語版いいねっしのまき」による情報発信）	・インバウンドを誘客するため、台湾ほか海外や国内在住外国人等へ、石巻地域の観光・食等の魅力や復興等に関する情報を広く発信するもの。	・公式Facebook（英語・中国語版）による情報発信を実施している。主に日本語版のSNSに投稿した観光地や特産品、地域のお店の情報などを翻訳し、掲載している。 【R4】英語版 60回、中国語版 59回 【R5】英語版 49回、中国語版 51回	○	○	○							○

施策の方向性と取組	No.	事業名	事業概要	実施状況	実施期間			該当する戦略					
					R4	R5	R6	回復戦略	戦略1	戦略2	戦略3	戦略4	
	7	インバウンド受入態勢強化推進事業 (外国人観光客案内ガイド向け研修)	・石巻地域におけるインバウンド受入態勢を強化するため、地域のガイド又はガイド希望者を対象として、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上に向けた支援を行うもの。	<p>【R4】 外国人観光客案内ガイドの知識や技術向上、インバウンド回復に向けた基盤整備を図るため、スキルアップ研修会を実施した。(参加者：16人) (1) 実施日：令和4年12月11日(日) (2) 内容： イ 各市町のおすすめの観光スポットについて 講師：石橋 隆雅(石巻市観光課)、武田 光由(東松島市商工観光課) ロ 門脇小学校をモデルにしたガイドのポイントについて 講師：リチャード・ハルバーシュタット(石巻市震災遺構門脇小学校館長) ハ 石巻市南浜地区の震災時の状況や復興について(みやぎ東日本大震災津波伝承館) 講師：飯塚解説員</p> <p>【R5】 外国人観光客案内ガイドの知識や技術向上、インバウンド回復に向けた基盤整備を図るため、スキルアップ研修会を実施した。(参加者：9人) (1) 実施日・参加者：令和5年10月1日(日) (2) 内容： イ 女川町まちあるき案内コース 講師：今野雅彦(一般社団法人女川町観光協会) ロ スペインタイルづくりワークショップ 講師：阿部鳴美(みなとまちセラミカ工房)</p> <p>【R6】 通訳兼ガイドとしての活動を希望する石巻圏域に在住する外国出身者等を対象に、外国人観光客案内ガイドの基礎的な養成講座を行うもの。 (1) 時期：10月頃 (2) 参加者：20人程度</p>	○	○	○				○	○	
	8	インバウンド受入態勢強化推進事業 (観光関係者向け研修)	・石巻地域におけるインバウンド受入態勢を強化するため、飲食店や宿泊施設等の観光関係者を対象として、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上に向けた支援を行うもの。	<p>【R4】 行政や飲食店、宿泊施設等の観光関係者を対象とした、世界で変化した旅のトレンドや外国人旅行者についての知識をアップデートし、日本における今後のインバウンドの状況について学ぶ研修会を実施した。 (1) 実施日：令和4年11月24日(木) (2) 内容：「アフターコロナ時代のインバウンド受入準備研修」 ～地域の魅力発信のために知っておきたい今後のトレンド～ 講師：櫻井 亮太郎(株式会社ライフブリッジ 代表取締役) (3) 参加者：11人</p> <p>【R5】 行政や飲食店、宿泊施設等の観光関係者を対象とした、世界で変化した旅のトレンドや外国人旅行者についての知識をアップデートし、日本における今後のインバウンドの状況について学ぶ研修会を実施した。 (1) 実施日：令和5年11月14日(火) (2) 内容：「アフターコロナ時代のインバウンドの現状研修」 ～観光客が求めるものと地方再生(SDGs)との連携性～ 講師：張 菁砒(有限会社益生) (3) 参加者：22人</p> <p>【R6】 外国人観光客とのコミュニケーション能力向上に向け、外国人観光客への対応について学ぶ研修会を開催する。 (1) 時期：11月頃 (2) 参加者：30人程度</p>	○	○	○				○	○	

施策の方向性と取組	No.	事業名	事業概要	実施状況	実施期間			該当する戦略					
					R4	R5	R6	回復戦略	戦略1	戦略2	戦略3	戦略4	
2.関係人口や関係地域の創出、デジタル化及び交通課題の解決	1	観光と食の魅力発信支援事業（石巻地域の物産と観光展inあつかしの郷）	・地域食材等の知名度向上や売上の増加、交流人口の拡大による観光消費額の増加を図るため、観光関係団体や商工団体、事業者等と連携し、地域の観光や食の魅力をも福島県国見町の道の駅国見あつかしの郷において情報発信を行うもの。	県の観光PRブースでのパンフレット等の配布、石巻地域の事業者の出店を実施。また、現地レストランと石巻地域の水産品のコラボメニューを例年販売している。 【R4】 日程等：令和4年7月9日（土）から18日（月祝）までの10日間 出店数：6店舗 売上総計1,745,850円 【R5】 日程等：令和5年7月8日（土）から17日（月祝）までの10日間 出店数：5店舗 売上総計2,055,340円 【R6】 日程等：令和6年7月6日（土）から15日（月祝）までの10日間 出店数：9店舗 売上総計2,813,456円	○	○	○	○	○				
	2	観光と食の魅力発信支援事業（石巻地域の物産と観光展in上杉城史苑）	・地域食材等の知名度向上や売上の増加、交流人口の拡大による観光消費額の増加を図るため、観光関係団体や商工団体、事業者等と連携し、地域の観光や食の魅力をも山形県米沢市の上杉城史苑において情報発信を行うもの。	県の観光PRブースでのパンフレット等の配布、石巻地域の事業者の出店を実施。R6年度は「米沢四季のまつり」の1つ、「なせばなる秋まつり」と同日で開催する。 【R5】 日程等：令和5年11月11日（土）から12日（土）までの2日間 出店数：3店舗 売上総計404,574円	○	○	○	○	○				
	3	県合同庁舎1階ロビー内ショーケースを活用した特産品PR	・来庁者に石巻圏域の特産品の魅力を発信するため、石巻合同庁舎1階ショーケースにおいて石巻地域の特産品等を展示するもの（年4回更新）。	石巻合同庁舎1階ロビーショーケースで、各市町の特産品などを展示。5月、8月、11月、2月の年4回、所内各部と観光団体に更新照会を実施。	○	○	○	○	○				
	4	人口減少・少子化等地域対策強化事業（石巻圏域お試し移住体験プログラム）	・主に移住・定住を考え始めた方々を対象に、石巻圏域をその候補先として、より興味・関心を持ってもらうため、比較的短期間の移住体験プログラムを実施することにより、圏域内市町の移住・定住推進業務の支援を図るため実施するもの。	【R4】 9組12人参加 【R5】 8組10人参加	○	○	○					○	
	5	人口減少・少子化等地域対策強化事業（地域おこし協力隊交流会）	・地域おこし協力隊員同士の情報交換や活動情報の共有を図るため、市町の枠を超えた管内の地域おこし協力隊等を対象にした交流会及び研修会を実施するもの。研修会は、協力隊の任期終了後の自立や定着に向けた支援を目的として実施したものである。	【R4】 27人参加 【R5】 26人参加	○	○	○			○			
	6	観光と食の魅力発信支援事業（大型イベントとの連携による圏域観光PR）	・県内のみならず県外からも誘客を見込める大型イベントの開催時に、来訪した観光客へ石巻地域を紹介するため、各種大型イベントと連携した観光PRを行うもの。	石巻川開き祭り、石巻復興フード見本市、松島町交通実験、サン・ファン祭り、Reborn-Art Festivalなど大型イベントにおけるパンフレット配布などの観光PRを行ったほか、一部イベントにおいては実行委員会委員としての連携を行っている。また石巻港への大型客船入港に合わせたおもてなし対応なども市町や観光協会と連携しながら実施している。	○	○	○						
	7	石巻圏域の情報発信（石巻エリアファンクラブメールマガジンの記事とりまとめ）	・石巻地域を応援してくれている石巻エリアファンクラブ会員に向けて、石巻地域の観光情報・イベント情報を発信するため、DMOが週2回メールマガジンを配信しており、観光情報などをDMOに提供しているもの。	令和5年度より実施。 DMOが週2回配信しているメルマガの木曜日分について、東部地方振興事務所、3市町、3市町の観光協会の7団体で輪番制で記事を担当し、そのとりまとめを行っている。	○	○	○					○	
	8	石巻圏域の情報発信（石巻圏域イベントスケジュール作成）	・石巻地域の数多く開催されるイベントについて、観光客が参考にできるよう情報の一元化を行うため、石巻地域で開催されるイベントを年間スケジュールとして、HPで公開しているもの。また毎月翌月開催のイベントについては詳細な情報をHPで公開しているもの。	令和4年度より実施。 毎月中旬頃に各市町＋各市町観光関係団体に開催予定のイベントを照会し、集まった情報を年間スケジュールとして、HPで公開している。また毎月翌月開催のイベントについてはより主催者や問い合わせ先などのより詳細な情報をHPで公開している。	○	○	○					○	
	9	観光と食の魅力発信支援事業（インスタフォトコンテストの開催（R4））	・フォロワー数及び投稿数拡大による圏域内への誘客促進とその滞在・周遊型観光の拡大のため、Instagramにおいて「いいねっしりのまきフォトコンテスト」を実施するもの。	【R4】 時期：令和4年9月1日（木）から令和4年10月31日（月） 応募総数：707件(賞品：グランプリ1点、準グランプリ2点、Wチャンス18点) 事業成果：フォロワー数の増加（1,385人→1,572人；187人増加）	○			○	○				

施策の方向性と取組	No.	事業名	事業概要	実施状況	実施期間			該当する戦略						
					R4	R5	R6	回復戦略	戦略1	戦略2	戦略3	戦略4		
	10	観光と食の魅力発信支援事業（インスタフォトキャンペーンの開催（R5～））	・フォロワー数及び投稿数拡大による圏域内への誘客促進とその滞在・周遊型観光の拡大のため、Instagramにおいて「いいねっしのみきフォトキャンペーン」を実施するもの。	【R5】 時 期：令和5年8月1日（火）から令和6年1月14日（日） 応募総数：873件(賞品：A賞6点、B賞12点、C賞40点) 事業成果：フォロワー数の増加（1,758人→1,930人：172人増加） 【R6】 時 期：令和6年8月1日（木）から令和6年12月31日（火）				○	○					
	11	観光地域づくりチャレンジ事業（震災伝承と田代島のネコ日帰りバスツアー）	・東日本大震災により特に大きな被害を受けた石巻圏域において、震災伝承の推進、一層の観光振興を図るため、震災伝承、観光の魅力発信を目的としたバスツアーを実施するもの。	【R4】 令和5年1月27日（土）36名、1月28日（日）40名参加。 仙台駅→東松島市震災復興伝承館（東松島市）→田代島（石巻市）→仙台駅	○	○	○	○	○					
3.新たな観光資源の創出による「滞在型観光」の実現	1	山大Sustainableふれあいコンサートin石巻合庁	・石巻合同庁舎に隣接して整備された災害公営住宅等の住民の方々が音楽等に親しみながら交流する場を創出し、コミュニティ形成の一助とするともに、合同庁舎を県民の皆様にとって身近で、訪れやすく、地域に開かれたものとしていくこと、音楽等の活動を行っている方々の新たな発表の機会を提供することを目的として、石巻合同庁舎大会議室でコンサートを開催するもの。	【R4】 年間5回 【R5】 年間8回 【R6】 年間8回	○	○	○		○					
	2	持続可能な新しい石巻圏域の観光資源発掘事業（みちのく潮風トレイルツアーの実施）	・震災からの復興が進んだ石巻圏域において、更なる関係人口・交流人口の拡大を目指すため、あなご、ほや雑煮、石巻せり鍋等の「食」やみちのくGOLD浪漫に認定された金華山などについて、持続可能な新たな観光資源として商品化を図るもの。	【R5】 石巻圏域における「みちのく潮風トレイル」の認知度向上のため、体験モニターツアー（みちのく潮風トレイルツアー）を実施したもの。 期 間：令和5年11月23日（木）～11月26日（日） 参加者：13人（北海道、青森、岩手、埼玉、栃木、千葉、東京他）				○	○					
	3	石巻圏域の情報発信（楽天パーク「宮城コマーシャルタイム」の活用）	・県内外から野球観戦に来る方に対し、石巻地域の魅力を発信するため、楽天パークで開催されるホームゲームの際に石巻地域のPR動画をスクリーンで放映するもの。	【R5】 年間9回、各市町3回放映 【R6】 年間9回、各市町3回放映	○	○	○	○	○				○	
	4	石巻圏域の情報発信（S-style等でのPR広報）	・石巻圏域の情報を県内外に発信するため、情報誌などに石巻圏域の観光イベント情報などを掲載するもの。	【R5】 三陸エリアの観光情報をS-style（観光雑誌12月号及びWEBページ）に掲載した。 ・時 期：令和5年11月 ・部 数：50千部程度（雑誌） ・内 容：各市町と連携し、冬の三陸エリア情報（シーバルピア女川やおしか御番所公園、大高森など）をPRする記事を作成した。				○					○	
	5	持続可能な新しい石巻圏域の観光資源発掘事業（寿司・海鮮体験を活かしたモニターツアーの実施）	・震災からの復興が進んだ石巻圏域において、更なる関係人口・交流人口の拡大を目指すため、あなご、ほや雑煮、石巻せり鍋等の「食」やみちのくGOLD浪漫に認定された金華山などについて、持続可能な新たな観光資源として商品化を図るもの。	【R5】 ・石巻圏域における「寿司・海鮮」の認知度向上のため、体験モニターツアー（寿司・海鮮体験ツアー）を実施したもの。 期 間：令和6年2月3日（土）～2月4日（日） 参加者：20人（岩手、福島、静岡他）				○	○					
	6	観光地域づくりチャレンジ事業（大川小学校とシーバルピア女川震災伝承日帰りバスツアー）	・東日本大震災により特に大きな被害を受けた石巻圏域において、震災伝承の推進、一層の観光振興を図るため、震災伝承、観光の魅力発信を目的としたバスツアーを実施するもの。	【R4】 ・令和5年3月4日（土）9名、3月5日（日）10名参加。 仙台駅→石巻市震災遺構大川小学校（石巻市）→道の駅硯上の里おがつ（石巻市）→海岸線の美術館（石巻市）→シーバルピア女川（女川町）	○					○				
	7	三陸地域アドベンチャーツーリズム研修（仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会三陸地域部会事業）	・三陸地域内の観光施設等の視察や体験等を通じて、その魅力を部会内で共有することで今後の連携推進の一助とするため、実際に三陸エリア内のアウトドア関連のアクティビティを体験する研修会を開催するもの。	【R4】 ・参加者：18人 南三陸・海のビジターセンターにおいて、カヌー体験等の通じ、その魅力を部会内で共有するために実施したもの。 【R5】 ・参加者：16人 松島自然の家の見学、KIBOTCHAにおいて、竹あかり作成ワークショップを実施したもの。	○	○	○	○	○				○	